



◆ センター講座、スタート

期末考査が終わって、5日からセンター試験前日の来月13日まで、3年生は受験の最終モードに入りました。センター試験受験生徒は会議室に机を並べ、朝から夕方までセンター試験対策の問題演習に取り組みます。会議室満席の70名の生徒は、これから40日間、正月も返上し、可能性を拓げるために一意専心取り組みます。ゴールはもうすぐ、みんなで、最後まで、やりきろう！



◆ 耐久高校を元気にする、生徒総会

8日、生徒総会を行いました。代議員形式から全校生徒による討論形式の生徒総会に戻して、今年で2回目となります。夏休み中の中央委員会で準備を始め、クラス、学年ごとに意見集約や討論しながら、生徒総会に達しました。テーマは「学習」、「校内環境」、「学校行事」の3本で、耐久高校をより良く、より楽しい学校にしようとの思いを持って、各クラスや個人の意見を出し合いました。様々な考えや感じ方があることを知り、違いを乗り越えながら一致団結できるかがポイントだと、あらためて思いました。運営を担当した私たち生徒会役員は、準備にたくさんの時間を割き、当日までは不安や緊張しかありませんでした。総会が進むにつれて、挙手しての積極的な発言が多くなり昨年よりも活性化した生徒総会になったという手ごたえと全校生徒の意識が高まっているように感じました。司会を務めて良い経験や勉強ができたと思います。(生徒会：丸山・清水・桑田)



◆ 図書館クリスマスコンサート

14日、15日、16日の昼休み、恒例のコンサートが図書館で行われました。マンドリン部、吹奏楽部に加えて、今年は特別に3年音楽選択生による演奏もあり、クリスマスメドレーやなじみ深いポップスなどを聞かせてくれました。毎年楽しみにしている生徒も多く、客席はすぐに埋まってしまっ、立って聞く生徒たちで超満員になりました。美しい音色に耳を傾け、忙しい学校生活をおくる毎日に彩りを添えるひとときが持てました。



◆ 2016年も残りわずか

終業式の講話で、校長先生は「年度の途中だが、新たな年を迎え気持ちを奮い立たせることができる良い機会。これまでの自身を振り返り、2017年にうまくつなげるように。」また、PTA会報に書かれた『習い性と成る』から「良い習慣は、良い性分となる。懸命に学ぼうとする気持ちが大切。」と話されました。しんどいと感じる時が成長のタイミング、そこから逃げず、「弱気のリミッター」を外して新しい年を迎えましょう。



◆ 「これからを生きる」あなたたちへ ～人権教育講演～

2日、保育士・保育園園長として子供の育ちに関わってこられ、現在、湯浅町のスクールソーシャルワーカーとして活躍されている上田さとみ先生にご講話いただきました。地域コミュニティの脆弱化や、貧困・格差の固定、家庭や家族の在り方の変化など、子ども達を取り巻く環境が大きく様変わりしている中で、上田先生を中心とするチームは、これら環境への働きかけを組織的・継続的に行って、子どもの育ちを支援しています。おとなへの一歩を踏み出そうとしている高校生に、わかり合う、支え合うことの大切さと、困ったときには助けを求める勇気の大事さを、熱く語って下さいました。



◆ 早朝清掃で感じた部活動の 有り難さ

クラブリーダーの育成と各クラブの横の繋がりを目指して、各学期に2回程度、リーダー研修を行っています。5日、早朝から、生徒会と協同して、校内の落ち葉の清掃や、通学路のゴミ拾いをしました。約30分、心を空っぽにして掃除するなかで、無性に部活動に集中したいとの思いが込み上げてきました。何か大事なものが見えたような気がします。(生徒会：桑田・清水)



◆ 「税の作文」の表彰

「納税」は国民の義務であるとともに、税を通して国や社会の仕組や課題が見えてきます。毎年、1年生が「税の作文」に取り組み、今年は、太田和希(和歌山県租税教育推進連絡協議会賞)、大東奈央(有田地方租税教育推進協議会会長賞)、上野山結梨(近畿税理士会湯浅支部長賞)の3名が優秀表彰をしていただきました。税を納めることは社会の一員としての責務を立派に果たしていることですが、耐久生には地域のリーダーを目指し、多くの人に幸せをもたらす活躍を期待します。



1月の予定

1日(日)～2日(月)	3年センタープレテスト
6日(金)	3学期始業式 1.2年宿題考査 3年センター説明会
10日(火)	1.2年宿題考査
10日(火)～13日(金)	3年学年末考査
14日(土)～15日(日)	センター試験
16日(月)	一斉登校指導 センターリサーチ
21日(土)～22日(日)	3年三者面談
22日(日)	英語検定
25日(水)	1・2年実力テスト
26日(木)	マラソン大会
28日(土)	2年医療看護模試、2年公務員模試



